毎月1・11・21日発行
9/21
令和5年(2023)
No.2303

広報 しながわ Shinagawa

Shinagawa City 品川区

教育特集号

発行／品川区　編集／広報広聴課　〒140－8715　品川区広町2－1－36　☎3777－1111(代表)　Fax5742－6870(広報広聴課)　https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/

市民科～品川区における特色ある教育活動～

スチューデント・シティ

区では、区立小学校・義務教育学校(前期課程)に通う5年生の児童を対象に、学校で学んだ知識と自らの生活を関連させる学習体験型実技演習プログラム「スチューデント・シティ」を市民科の授業に取り入れています。「スチューデント・シティ」とは、実際の街と店舗を再現し、働く人や消費者の立場に立ち経済体験を行う活動のことです。体験学習を通して将来必要な資質や技能、知識を学ぶとともに、職業選択や将来設計をするための能力を身に付けることをめざします。

本プログラムを開始してから昨年度で20年目を迎えました。体験スペースを拡大したほか、次年度は二次元コード決済を新たに導入する予定です。

問い合わせ　教育総合支援センター(☎3490－2000 Fax3490－2007)

朝のミーティングの様子。この後、区長役児童が代表挨拶を行い、業務スタートです。

まずは区役所で住民登録。住民税も忘れずに納めます。

拡大された体験スペース。さまざまな会社で目的意識をもって業務にあたります。

働いた分の給与でモノやサービスを購入し、収支記録帳に記録します。

学習内容

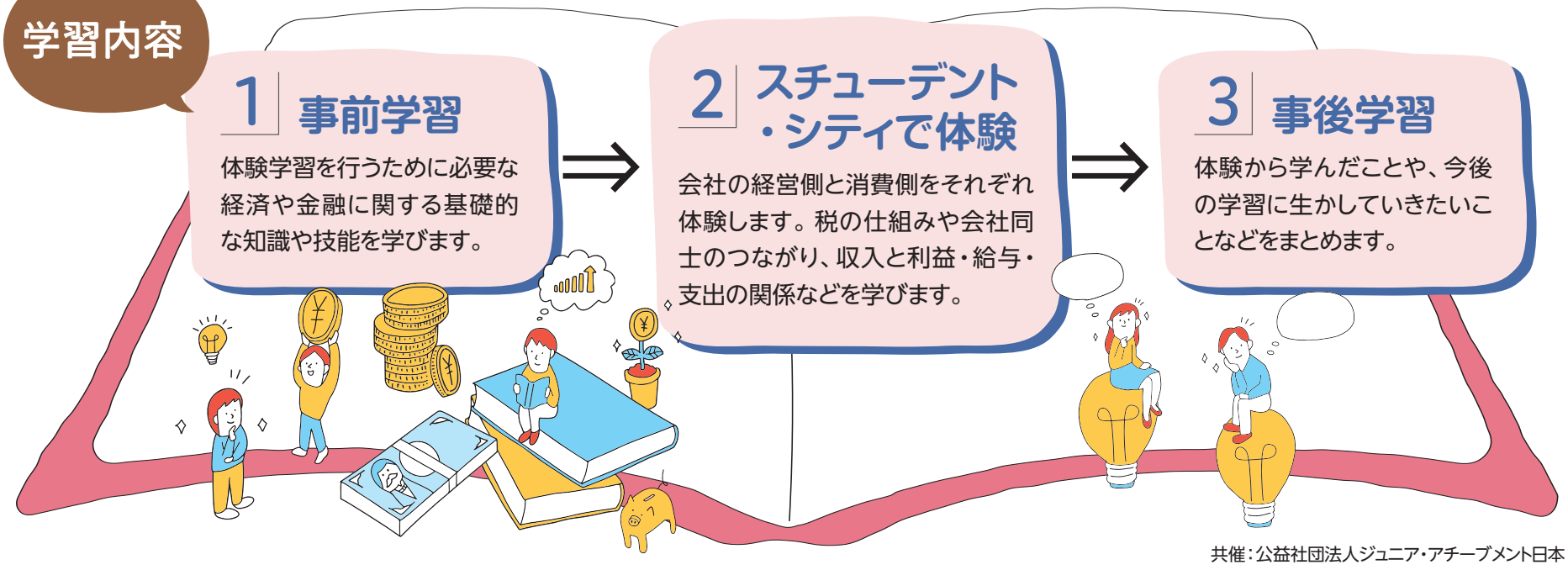
1 事前学習
体験学習を行うために必要な経済や金融に関する基礎的な知識や技能を学びます。

⇒

2 スチューデント・シティで体験
会社の経営側と消費側をそれぞれ体験します。税の仕組みや会社同士のつながり、収入と利益・給与・支出の関係などを学びます。

⇒

3 事後学習
体験から学んだことや、今後の学習に生かしていきたいことなどをまとめます。



共催：公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

品川コミュニティ・スクール

～学校の主役である子ども達との対話から始まる協働～

品川コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民のみなさんの参画により学校運営を行う仕組みのことです。平成30(2018)年度以降、全ての区立学校で、地域とともにある学校づくりを進めています。

区では、地域の方々が学校運営に参画する「校区教育協働委員会」や教育活動を支援する「学校支援地域本部」、学校と地域をつなぐ「学校地域コーディネーター」を配置し、地域のみなさんとともにより良い学校づくりを進めています。

問い合わせ
指導課学校地域連携係(☎5742−6595 Fax5742−6892)

1 より良い学校づくりのためのアイデアの「タネ」を話し合いで見つけます

どんなテーマを話し合うの？

- 探究的な学びを支えるための地域連携のあり方は？
- いじめを防ぐためには？
- 学校のきまりは？
- 充実した学校生活を送るためには？

子ども達も参加します！

品川コミュニティ・スクールDAYを開催しています

5年4月に施行された「こども基本法」の理念を踏まえ、子どもの声を聴く機会をつくるため、校区教育協働委員会に児童・生徒が参加する「品川コミュニティ・スクールDAY」を各校で開催しています。「より良い学校にしていくために」などのテーマで、地域住民や教職員、児童・生徒が熟議(熟慮と議論)を重ね、幅広い意見を取り上げています。参加者全員が当事者としての意識をもち、子どもや地域が抱える課題を共有するとともに、今後の地域と学校のあり方を検討しています。

2 実現に向け、アイデアの「タネ」に「水」をあげて育てます

校区教育協働委員会での熟議などによるアイデアをもとに、学校地域コーディネーターが学校や学校支援地域本部(学校支援ボランティアなど)と連絡・調整を行い、アイデアの実現を目指します。

3 連携・協働の「花」を咲かせます

これまでに実現した取り組みの一部を紹介します。

保護者との協働

クワガタ園を整備することで、観察などの学習に生かすことができました。
(御殿山小学校)

区内企業との連携

企業から「仕事」「生き方」などの話を聴き、子ども達が将来を考えるきっかけになりました。
(伊藤学園)

地域団体との協働

地域団体の方の指導のもと、子ども達がボランティアで花壇の整備を行い、地域の方々に喜んでいただきました。
(浜川中学校)

地域住民の参加

地域住民が一人ひとりに応じた学習支援を行い、子ども達の学習意欲が高まりました。
(鈴ケ森中学校)

区内商店街との連携

実際に仕事を体験することで、仕事の大変さや働く喜びなどを感じました。
(延山小学校)

持続可能な学校と地域の「協働」へ

参加者募集中！

学校支援に関わりたい方へ
品川コミュニティ・スクール
学校支援ボランティア養成講座

学校支援ボランティアの活動や、品川コミュニティ・スクールを知るための講座です。申込方法など詳しくは、区ホームページをご覧ください。

区ホームページはこちらから

宮前小学校に特別支援学級を開設します

6年4月に、区立小学校で初めての自閉症・情緒障害特別支援学級を宮前小学校に開設します。

基本的な学習・指導内容は通常の学級と同じですが、小集団での指導を通じて情緒の安定やコミュニケーション能力を育成する授業(自立活動)を行います。自立活動では、認知機能を高めるトレーニングや生活の振り返りを行い、自己・他者理解を深めたり、ソーシャルスキルやストレス対処法を学んだりします。

対象 **知的発達の遅れがなく、次のいずれかにあてはまるお子さん**

- 自閉症などにより、他人との意思疎通および対人関係の形成が困難である程度のもの
- 主として心理的な要因による選択性かん黙などにより、社会生活への適応が困難である程度のもの

問い合わせ 6年度に就学希望のお子さんは、11月30日㈭までに教育総合支援センター特別支援教育担当(☎5740−8202 Fax3490−2007)へ。在学中のお子さんは、在学している学校へ

※品川区電子申請サービスからも就学相談の申し込みができます。

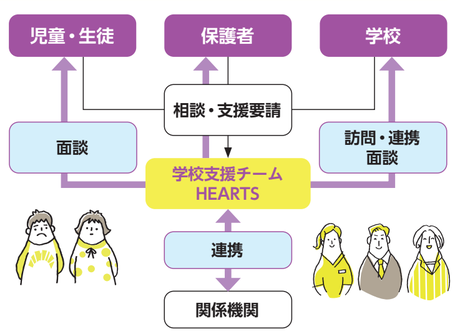
電子申請はこちらから

学校支援チームHEARTS(ハーツ)をご存じですか？

HEARTSは、区立学校に在籍するお子さんの支援のために、スクールソーシャルワーカーや心理相談員、指導主事などで構成された専門家チームです。不登校やいじめ、非行、家庭環境などにより、お子さんが学習に向かえない状況になった場合に、解決に向けて一緒に考え、サポートしていきます。何よりも早めの対応が大切です。心配や不安を感じたら、まずはご連絡ください。

相談方法
- 相談専用電話☎**5740−8225**
- 各区立学校に設置された目安箱
- タブレット端末の「アイシグナル」(7～9年生対象)
- まもるっちのHEARTS相談電話(1～6年生対象)

問い合わせ 教育総合支援センター相談支援担当(☎3490−2008 Fax3490−2007)



しながわデジタルアーカイブ

区に関連する歴史資料などを公開しています！

区の歴史や文化に関する資料をより多くの方に利用していただくため、区が収集・所蔵する区史、古文書、地図などの地域資料を「しながわデジタルアーカイブ」として公開しました。資料はインターネット上で自由に閲覧できます。

現在公開している資料は、「品川区史」「品川の歴史」などの刊行物や伝統芸能・定点動画などの映像、歌川広重などの浮世絵、区の統計データなど43点です。

区を知り、より一層親しみをもっていただくほか、区に関する調査・研究や歴史・文化の探求に、ぜひご活用ください。

「しながわデジタルアーカイブ」はこちらから

歌川広重「東都名所　御殿山花見　品川全図」

問い合わせ　品川図書館（☎3471－4667 Fax3740－4014）

学校給食の無償化を行っています

子どもの心身の健やかな成長を社会全体で支援する取り組みの一環として、5年4月から区立学校に通う児童・生徒を対象に、学校給食の無償化を行っています。学校給食の無償化を通して、子育て家庭の負担と不安を軽減し、安心して子育てができる環境をめざします。

また、都立特別支援学校に在籍する児童・生徒には給食費相当の額を支給しています。受給には申請が必要です。詳しくは区ホームページをご覧ください。

問い合わせ

●**学校給食の無償化について**
学務課保健給食係（☎5742－6829 Fax5742－0180）

●**特別支援学校の給食費補助について**
学務課学事係（☎5742－6828 Fax5742－0180）

一人ひとりの豊かな人生の実現に向けて

品川区教育長　伊﨑みゆき

このたび、議会の同意をいただき、令和5年4月13日付で教育長に就任いたしました。就任にあたりまして教育特集号の紙面にてご挨拶を申し上げます。

区では、未来を切り拓（ひら）く力をもつ児童・生徒の育成をめざし、「地域とともにある学校づくり」「3校種体制における学校教育の推進」「9年間の一貫したカリキュラム」を基盤とし、「新たな価値を創造する力」と「グローバルに活躍する力」を重視した教育を進めてまいりました。今後は、これまでの取り組みをさらに発展させ、引き続き、確かな学力の育成を進めながら、人間性などの資質と能力の調和の取れた個人の育成をめざしてまいります。

さて、将来の予測が困難な時代といわれる今、「人と社会のウェルビーイング」、すなわち、「一人ひとりが生涯にわたって身体的・精神的・社会的に良い状態であるとともに、地域や社会全体が豊かさを感じられること」が重視されています。教育においても、一人ひとりの子どもの「ウェルビーイング」を高めていくことが重要です。相互に多様性を認め合い、他者を大切にできる教育環境の整備に努めるとともに、児童・生徒のもつそれぞれの「長所・強み」を大切にし、可能性を引き出すことのできる教育を進めていきたいと考えております。

また、区では、全学校を「品川コミュニティ・スクール」に指定しており、地域と学校が一体となって、教育活動の改善や児童・生徒の健全育成に取り組んでいるところです。学校・家庭・地域の連携・協働を進め、子ども達が地域の一員として自己肯定感や社会性などを培うとともに、一人ひとりの「ウェルビーイング」の向上を図り豊かな心を育んでまいります。

区民の皆様からのご意見や知見をいただきながら、次代を担う子ども達の育成のため、さらなる教育行政の向上に全力で努力をしてまいります。皆様の学校教育へのご理解・ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

83（ハチさん）運動を推進しています

区では、小学生の登下校時刻である午前8時と午後3時に、買い物や犬の散歩、花の水やりなどを行い、日常生活の中で児童を見守る「83運動」を推進しています。いつでも、どこでも、どなたでも取り組むことができますので、みなさんのご協力をお願いします。

問い合わせ　庶務課庶務係（☎5742－6824 Fax5742－6890）

すまいるスクール

すまいるスクールは、区内在住の児童を対象とした放課後などの居場所です。区立小学校・義務教育学校の施設を活用して37カ所開設しています。宿題などに取り組む「学習タイム」、学級や学年を超えて自由に遊びや運動をして過ごす「フリータイム」、地域ボランティアなどが講師となり将棋や工作、タグラグビーなどを体験する「教室」を実施し、学びや遊びを通して児童の成長を育みます。

利用には登録が必要です。詳しくは区ホームページをご覧ください。

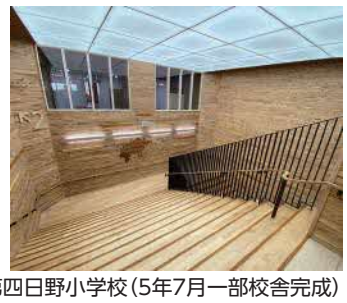
利用案内

利用日／月～土曜日（祝日、年末年始を除く）
利用時間／学校がある日＝放課後～午後5時（午後7時まで延長あり）
学校が休みの日＝午前8時15分～午後5時（午後7時まで延長あり）
利用料／午後5時まで＝月250円、午後6時まで＝月3,250円、午後7時まで＝月4,250円

問い合わせ　子ども育成課放課後サポート担当（☎5742－6596 Fax5742－6351）

校舎改築を進めています

施設の老朽化に加えて、就学人口の増加、国による学級の少人数化などに対応するため、学校の歴史や特色を生かした校舎改築に取り組んでいます。



第四日野小学校（5年7月一部校舎完成）

学校名	新校舎完成予定	校庭整備完了予定
浜川小学校	6年3月	7年7月
第四日野小学校	7年7月	8年10月
浜川中学校	8年7月	9年8月
城南第二小学校	9年9月	11年3月
源氏前小学校	設計中	
	11年4月	11年8月
鈴ケ森小学校	設計中	

※工事期間中は、騒音・振動など、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ　庶務課　学校施設計画係（☎5742－6833 Fax5742－6890）
学校施設整備担当（☎5742－6826 Fax5742－6890）

●区内在住の方には「広報しながわ」を個別配送しています。広報広聴課（☎5742－6644 Fax5742－6870）へご連絡ください。品川区電子申請サービスからも申請できます。